



## 平成 20 年 3 月期 第 1 四半期財務・業績の概況

平成 19 年 8 月 6 日

上場会社名 **株式会社 東京スター銀行** 上場取引所 東証一部  
 コード番号 8384 (URL <http://www.tokyostarbank.co.jp/>)  
 代表者 代表執行役頭取 タッド・バッジ  
 問合せ先責任者 ファイナンシャルコントローラー 池田 和隆 電話 03-3586-3111 (代表)

(百万円未満、小数点第 1 位未満は切捨て)

### 1. 平成 20 年 3 月期第 1 四半期の連結業績 (平成 19 年 4 月 1 日～平成 19 年 6 月 30 日)

(1) 連結経営成績 (%表示は対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		四半期(当期) 純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20 年 3 月期第 1 四半期	19,545	(9.8)	6,220	(△9.1)	3,746	(△9.5)
19 年 3 月期第 1 四半期	17,791	(14.8)	6,847	(151.8)	4,143	(△23.9)
19 年 3 月期	75,643		25,588		16,108	

	1 株当たり四半期 (当期) 純利益		潜在株式調整後 1 株当たり 四半期(当期) 純利益	
	円	銭	円	銭
20 年 3 月期第 1 四半期	5,351	46	—	—
19 年 3 月期第 1 四半期	5,918	68	—	—
19 年 3 月期	23,012	13	—	—

(注) 潜在株式調整後 1 株当たり四半期(当期)純利益については、希薄化効果を有する潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本 比率(注)	1 株当たり 純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
20 年 3 月期第 1 四半期	1,715,726	100,322	5.8	143,317 19
19 年 3 月期第 1 四半期	1,563,718	87,019	5.5	124,313 64
19 年 3 月期	1,682,345	102,322	6.0	146,175 53

(注) 「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計－期末新株予約権－期末少数株主持分)を期末資産の部合計で除した比率であり、「銀行法第 14 条の 2 の規定に基づき、銀行がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準」(平成 18 年金融庁告示第 19 号)に基づいて算出する連結自己資本比率ではありません。なお、当行においては、期末新株予約権及び期末少数株主持分は該当ありません。

## 2. 配当の状況

当行は、第 1 四半期中のいずれかの日を基準日とする配当は行っておりませんので、当該項目に記載すべき内容については該当ありません。

## 3. 平成 20 年 3 月期の連結業績予想（平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日）

	経常収益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益	
	百万円	百万円	百万円	円	銭
中間期	37,000	10,300	10,300	14,714	28
通期	76,400	21,500	17,000	24,285	71

## 4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
- (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無：有
- (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無：無

〔（注）詳細は 3 ページ【定性的情報・財務諸表等】 3. その他をご覧ください。〕

### ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

平成 20 年 3 月期の連結業績予想につきましては、平成 19 年 5 月 25 日発表の業績予想数値から変更はございません。

（注）本資料には、将来の業績に関する記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクと不確実性を内包するものです。将来の業績は経営環境に関する前提条件の変化等に伴い、予想対比変化する可能性があることにご留意下さい。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績及び連結財政状態に関する定性的情報

本資料 7 ページ 「平成 20 年 3 月期 第 1 四半期決算（連結）の概要」をご覧ください。

2. 連結業績予想に関する定性的情報

当四半期の業績につきましては、概ね予想通りに推移しております。

従いまして、中間期及び通期の業績予想については、現時点では平成 19 年 5 月 25 日に公表しました業績予想から変更はありません。

3. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当ありません。

- (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

- ・固定資産の減価償却の方法

年度見込み額のうち当四半期末までに該当する金額を計上しております。

- ・貸倒引当金の計上基準

債務者格付が直前決算時と同一の債務者宛債権には、直前決算時に当該債務者に適用した引当率を適用し貸倒引当金を算出しております。

また、債務者格付が直前決算時と相違する債務者宛債権の一部には、当四半期末日の債務者格付に基づき、直前決算時に当該格付の債務者に適用した引当率を適用し貸倒引当金を算出しております。

- ・法人税等の計上基準

当四半期の税金費用については、簡便的に法定実効税率をベースとした年間予測税率により計算しており、法人税、住民税及び事業税は法人税等調整額を含めた金額で一括掲記しております。

- (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

該当ありません。

#### 4. (要約) 四半期連結財務諸表

##### (1) (要約) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円、%)

	前年同四半期末 (平成19年3月期 第1四半期末)	当四半期末 (平成20年3月期 第1四半期末)	増減		(参考) 平成19年3月 期末
	金額	金額	金額	増減率	金額
<b>(資産の部)</b>					
現金預け金	37,773	64,535	26,762	70.8	74,516
コーポレートローン	78,758	93,404	14,646	18.5	45,817
買入金銭債権	62,198	39,726	△22,472	△36.1	41,645
商品有価証券	6	1	△5	△83.3	6
金銭の信託	3,659	3,608	△51	△1.3	3,624
有価証券	285,053	296,356	11,303	3.9	318,679
貸出金	1,070,822	1,186,182	115,360	10.7	1,169,024
外国為替	846	462	△384	△45.3	1,261
その他資産	15,903	20,106	4,203	26.4	17,778
有形固定資産	11,500	10,946	△554	△4.8	11,164
無形固定資産	3,085	5,125	2,040	66.1	5,234
繰延税金資産	15,586	14,726	△860	△5.5	13,198
支払承諾見返	2,261	1,841	△420	△18.5	1,871
貸倒引当金	△23,738	△21,297	2,441	△10.2	△21,478
<b>資産の部合計</b>	<b>1,563,718</b>	<b>1,715,726</b>	<b>152,008</b>	<b>9.7</b>	<b>1,682,345</b>
<b>(負債の部)</b>					
預金	1,381,089	1,512,749	131,660	9.5	1,480,455
譲渡性預金	10,000	2,500	△7,500	△75.0	—
債券貸借取引受入担保金	2,914	—	△2,914	△100.0	—
コーポレートマネー	10,000	—	△10,000	△100.0	—
外国為替	0	0	0	0	30
社債	23,000	55,500	32,500	141.3	55,500
その他負債	46,472	41,131	△5,341	△11.4	39,352
賞与引当金	657	651	△6	△0.9	1,652
役員賞与引当金	78	987	909	1,165.3	1,086
役員退職慰労引当金	—	25	25	—	54
利息返還損失引当金	—	16	16	—	16
負ののれん	224	—	△224	△100.0	2
支払承諾	2,261	1,841	△420	△18.5	1,871
<b>負債の部合計</b>	<b>1,476,698</b>	<b>1,615,404</b>	<b>138,706</b>	<b>9.3</b>	<b>1,580,022</b>

株式会社東京スター銀行(8384)  
平成20年3月期 第1四半期財務・業績の概況

(単位：百万円、%)

	前年同四半期末 (平成19年3月期 第1四半期末)	当四半期末 (平成20年3月期 第1四半期末)	増 減		(参考) 平成19年3月 期末
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
<b>(純資産の部)</b>					
資 本 金	21,000	21,000	—	—	21,000
資 本 剰 余 金	19,000	19,000	—	—	19,000
利 益 剰 余 金	52,080	64,292	12,212	23.4	64,046
(株主資本合計)	92,080	104,292	12,212	13.2	104,046
その他有価証券評価差額金	△920	△942	△22	△2.3	△98
繰延ヘッジ損益 (評価・換算差額等合計)	△4,140	△3,027	1,113	26.8	△1,624
	△5,061	△3,970	1,091	21.5	△1,723
<b>純資産の部合計</b>	87,019	100,322	13,303	15.2	102,322
<b>負債及び純資産の部合計</b>	1,563,718	1,715,726	152,008	9.7	1,682,345

(2) (要約) 四半期連結損益計算書

(単位：百万円、%)

	前年同四半期 (平成19年3月期 第1四半期)	当四半期 (平成20年3月期 第1四半期)	増減		(参考) 平成19年 3月期
	金額	金額	金額	増減率	金額
<b>経常収益</b>	17,791	19,545	1,754	9.8	75,643
資金運用収益	12,047	14,109	2,062	17.1	51,485
(うち貸出金利息)	(9,877)	(11,250)	(1,373)	(13.9)	(41,913)
(うち有価証券利息配当金)	(1,278)	(2,047)	(769)	(60.1)	(6,106)
役務取引等収益	3,024	3,636	612	20.2	12,939
その他業務収益	798	199	△599	△75.0	3,622
その他経常収益	1,921	1,600	△321	△16.7	7,595
<b>経常費用</b>	10,943	13,324	2,381	21.7	50,054
資金調達費用	2,066	2,779	713	34.5	9,361
(うち預金利息)	(2,040)	(2,551)	(511)	(25.0)	(8,978)
役務取引等費用	686	1,211	525	76.5	3,642
その他業務費用	60	95	35	58.3	310
営業経費	7,293	8,051	758	10.3	31,253
その他経常費用	835	1,187	352	42.1	5,485
<b>経常利益</b>	6,847	6,220	△627	△9.1	25,588
特別利益	322	58	△264	△81.9	1,410
(うち貸倒引当金戻入益)	(322)	(—)	(△322)	(△100.0)	(—)
特別損失	12	19	7	58.3	122
税金等調整前 四半期(当期)純利益	7,158	6,260	△898	△12.5	26,876
法人税、住民税及び事業税	3,015	2,514	△501	△16.6	10,674
法人税等調整額	—	—	—	—	93
<b>四半期(当期)純利益</b>	4,143	3,746	△397	△9.5	16,108

## 平成20年3月期 第1四半期決算(連結)の概要

### 1. 収益について

- 経常収益は、貸出金利息の増加を主因とし、前年同期(以下、前期)比17億円(9.8%)増加の195億円となりました。
- 連結業務粗利益<sup>(注)</sup>も前期比8億円(7.3%)増加し、122億円となりました。特に、資金利益に関しては、前期比16.5%増加しております。
- 経常利益は、本年5月25日公表の中間期予想103億円に対し、62億円となりました。
- 当四半期純利益は会社計画を超過しており、中間期予想につきましても達成を見込んでおります。

### 2. 資産・負債について

- 貸出金は、前期末比1,153億円(10.7%)増加の1兆1,861億円と着実に成長しております。
- 預金(含む譲渡性預金)も順調に増加し、前期末比1,241億円(8.9%)増加の1兆5,152億円となりました。
- 金融再生法開示債権比率(いわゆる、不良債権比率)は、前期末の3.83%から2.90%へと低下しました。信用コスト<sup>(注)</sup>は10億円で、貸出金平残に対する割合は0.36%(36ベースポイント)となりました。

(注)算出に際しては、旧東京相和銀行等からの買取債権の債権金額と取得価額の差額(取得差額金)より生じる収益を控除した計数を使用しております。

### 【ご参考】

#### <連結>

(単位:百万円)

	平成20年3月期 第1四半期	平成19年3月期 第1四半期	増減	増減率 (%)	【業績予想】 <sup>(注)</sup> 平成20年3月期	
					中間期	通期
経常収益	19,545	17,791	1,754	9.8	37,000	76,400
経常利益	6,220	6,847	△627	△9.1	10,300	21,500
当期(四半期)純利益	3,746	4,143	△397	△9.5	10,300	17,000
1株当たり当期 (四半期)純利益(円)	5,351.46	5,918.68	△567.22	△9.5	14,714.28	24,285.71

(注)「業績予想」については、平成19年5月に公表のものから変更ございません。

(なお、将来の業績に関する記述についての留意点は本資料2ページをご参照下さい)

## 平成20年3月期 第1四半期 参考情報

### 1. 四半期損益状況

#### ① 連結

(単位：百万円)

	当四半期 (A) (平成20年3月期 第1四半期)	前年同四半期 (B) (平成19年3月期 第1四半期)	増 減 (A) - (B)
<b>連結粗利益</b>	<b>13,859</b>	<b>13,056</b>	<b>803</b>
資金利益	11,330	9,980	1,350
役務取引等利益	2,425	2,337	88
その他業務利益	104	737	△633
営業経費(△)	8,051	7,293	758
一般貸倒引当金繰入額(△)	△855	—	△855
臨時損益	△442	1,085	△1,527
株式等関係損益	390	155	235
不良債権処理額(△)	1,887	781	1,106
貸出金償却(△)	805	781	24
個別貸倒引当金繰入額(△)	1,082	—	1,082
その他の債権売却損等(△)	—	—	—
その他臨時損益	1,054	1,712	△658
<b>連結経常利益</b>	<b>6,220</b>	<b>6,847</b>	<b>△627</b>
特別損益	39	310	△271
うち固定資産処分損益	39	△12	51
固定資産処分益	58	—	58
固定資産処分損(△)	19	12	7
うち償却債権取立益	0	0	△0
うち貸倒引当金取崩益	—	322	△322
税金等調整前連結四半期純利益	6,260	7,158	△898
法人税等(法人税等調整額を含む)(△)	2,514	3,015	△501
<b>連結四半期純利益</b>	<b>3,746</b>	<b>4,143</b>	<b>△397</b>

(注) 連結粗利益 = (資金運用収益 - 資金調達費用) + (役務取引等収益 - 役務取引等費用) + (その他業務収益 - その他業務費用)

② 単体

(単位：百万円)

	当四半期 (A) (平成 20 年 3 月期 第 1 四半期)	前年同四半期 (B) (平成 19 年 3 月期 第 1 四半期)	増 減 (A) — (B)
<b>業務粗利益</b>	<b>12,152</b>	<b>12,108</b>	<b>44</b>
資金利益	11,151	9,728	1,423
役務取引等利益	897	1,643	△746
その他業務利益	103	736	△633
経費 (除く臨時費用分) (△)	7,748	7,309	439
人件費	3,372	2,934	438
物件費	3,984	3,926	58
税金	391	447	△56
<b>業務純益</b> (一般貸倒引当金繰入前・のれん償却前)	<b>4,404</b>	<b>4,799</b>	<b>△395</b>
一般貸倒引当金繰入額 (△)	—	—	—
のれん償却額 (△)	—	—	—
<b>業務純益</b>	<b>4,404</b>	<b>4,799</b>	<b>△395</b>
うち債券関係損益	△28	4	△32
臨時損益	696	1,032	△336
株式等関係損益	390	146	244
不良債権処理額 (△)	642	758	△116
貸出金償却 (△)	642	758	△116
個別貸倒引当金繰入額 (△)	—	—	—
その他の債権売却損等 (△)	—	—	—
その他臨時損益	948	1,644	△696
<b>経常利益</b>	<b>5,100</b>	<b>5,832</b>	<b>△732</b>
特別損益	671	985	△314
うち固定資産処分損益	39	△12	51
固定資産処分益	58	—	58
固定資産処分損 (△)	19	12	7
うち償却債権取立益	0	0	△0
うち貸倒引当金取崩益	631	997	△366
税引前四半期純利益	5,771	6,817	△1,046
法人税等 (法人税等調整額を含む) (△)	2,327	2,822	△495
<b>四半期純利益</b>	<b>3,444</b>	<b>3,995</b>	<b>△551</b>

## 【ご参考①】 収益構成(連結)

当行の収益は、自ら行った与信業務等による収益（一般業務収益）のほか、旧東京相和銀行等から額面以下の価額で取得した債権より生じる収益（買取債権収益）から構成されております。

当行では、買取債権収益を控除した一般業務収益が当行業務の業績をより適切に示しているとの考えから、内部管理上、当該収益に基づく業績評価を行っております。

### (1) 買取債権収益

(単位：百万円)

	当四半期 (A) (平成 20 年 3 月期 第 1 四半期)	前年同四半期 (B) (平成 19 年 3 月期 第 1 四半期)	増 減 (A) — (B)
<b>買取債権収益</b>	<b>2,704</b>	<b>3,308</b>	<b>△604</b>
取得差額金の償却（資金運用収益計上分）(A)	1,539	1,579	△40
取得差額金の償却 （貸倒引当金繰入額との相殺前）	1,586	1,858	△272
貸倒引当金繰入額との相殺額	△46	△278	232
取得差額金の償却（役務取引等収益計上分）(B)	20	22	△2
買取債権償還益・回収益	1,096	1,428	△332
貸倒引当金繰入額との相殺額加算	46	278	△232

### (2) 業務粗利益の内訳

(単位：百万円)

	当四半期 (A) (平成 20 年 3 月期 第 1 四半期)	前年同四半期 (B) (平成 19 年 3 月期 第 1 四半期)	増 減 (A) — (B)
<b>業務粗利益（買取債権収益を含む）</b>	<b>13,859</b>	<b>13,056</b>	<b>803</b>
資金利益	11,330	9,980	1,350
一般業務収益 (C)	9,790	8,401	1,389
買取債権収益 (=A)	1,539	1,579	△40
役務取引等利益	2,425	2,337	88
一般業務収益 (D)	2,404	2,315	89
買取債権収益 (=B)	20	22	△2
その他業務利益 (E)	104	737	△633
<b>業務粗利益（一般業務収益分）(C+D+E)</b>	<b>12,298</b>	<b>11,454</b>	<b>844</b>

## 【ご参考②】信用コスト(連結)

(単位：百万円)

	当四半期 (A) (平成 20 年 3 月期 第 1 四半期)	前年同四半期 (B) (平成 19 年 3 月期 第 1 四半期)	増 減 (A) — (B)
一般貸倒引当金繰入額 (△は戻入額)	△855	△322	549
個別貸倒引当金繰入額 (△は戻入額)	1,082		
貸出金償却	805	781	24
その他の債権売却損等	—	—	—
信用コスト (買取債権に係るものを除く)	1,032	459	573
買取債権に係る償却額の貸倒引当金繰入額との相殺額	46	278	△232
信用コスト (償却債権取立益を相殺前)	1,079	738	341
償却債権取立益との相殺額	0	0	△0
<b>信用コスト</b>	<b>1,078</b>	<b>737</b>	<b>341</b>

## 2. 金融再生法開示債権の状況(連結)

(単位：百万円)

	平成 19 年 6 月末	平成 18 年 6 月末	【参考】 平成 19 年 3 月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	5,868	4,244	3,721
危険債権	17,409	24,539	17,869
要管理債権	11,262	12,398	14,264
<b>小 計 (A)</b>	<b>34,541</b>	<b>41,183</b>	<b>35,855</b>
正常債権	1,155,898	1,034,957	1,138,895
総与信残高 (B)	1,190,439	1,076,140	1,174,751
<b>総与信残高比 (A/B×100) (%)</b>	<b>2.90</b>	<b>3.83</b>	<b>3.05</b>

(注) 上記の計数は、「金融機能の再生のための緊急措置に関する法律施行規則」第 4 条に規定する各債権のカテゴリーにより分類しております。

※ 債務者区分との関係

- ・「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」は、自己査定において実質破綻先・破綻先として区分された債務者が有する債権額であります。なお、無価値と認められる部分につき、部分直接償却相当額を直接減額しております。
- ・「危険債権」は、自己査定において破綻懸念先として区分された債務者が有する債権額であります。
- ・「要管理債権」は、自己査定において要注意先に対する債権のうち、元金又は利息の支払いが 3 ヶ月以上延滞している貸出債権または貸出条件を緩和している貸出債権の合計額であります。

### 3. 自己資本比率(国内基準)

	平成19年9月末予想	[参考] 平成19年3月末
連結自己資本比率	9%前後	9.52%
連結 Tier I 比率	7%台後半	7.77%

(注) 上記予想値は、経営環境に関する前提条件の変化等に伴い変動することがあります。

### 4. 時価のある有価証券の評価差額(連結)

(単位：億円)

	平成19年6月末				平成18年6月末				[参考] 平成19年3月末			
	時価	評価差額		うち 損	時価	評価差額		うち 損	時価	評価差額		うち 損
		うち 益	うち 損			うち 益	うち 損			うち 益	うち 損	
その他有価証券	2,395	△15	6	22	2,384	△15	13	28	2,620	△1	11	13
株式	5	3	3	—	12	7	7	—	12	8	8	—
債券	1,487	△8	0	8	1,500	△13	0	13	1,865	△6	0	6
その他	902	△11	3	14	872	△9	5	14	741	△3	3	6

### 5. デリバティブ取引(連結)

#### ① 金利関連取引

(単位：億円)

区分	種類	平成19年6月末			平成18年6月末			[参考] 平成19年3月末		
		契約額等	時価	評価損益	契約額等	時価	評価損益	契約額等	時価	評価損益
店頭	金利先渡契約	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	金利スワップ	4,999	△3	△3	587	0	0	3,992	△1	△1
	金利オプション	345	—	0	213	2	0	339	—	0
	その他	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	合計			△2			0			△1

(注) ヘッジ会計を適用しているデリバティブ取引は、上記記載から除いております。  
なお、取引所取引は該当ありません。

#### ② 通貨関連取引

(単位：億円)

区分	種類	平成19年6月末			平成18年6月末			[参考] 平成19年3月末		
		契約額等	時価	評価損益	契約額等	時価	評価損益	契約額等	時価	評価損益
店頭	通貨スワップ	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	為替予約	356	△2	△2	128	0	0	297	△0	△0
	通貨オプション	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	その他	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	合計			△2			0			△0

(注) 取引所取引は該当ありません。

③ 株式関連取引

該当ありません。

④ 債券関連取引

(単位：億円)

区分	平成19年6月末			平成18年6月末			【参考】平成19年3月末		
	契約額等	時価	評価損益	契約額等	時価	評価損益	契約額等	時価	評価損益
取引所	—	—	—	140	0	0	—	—	—
合計			—			0			—

(注) 店頭取引は該当ありません。

⑤ 商品関連取引

該当ありません。

⑥ クレジットデリバティブ取引

該当ありません。

⑦ その他

(単位：億円)

区分	種類	平成19年6月末			平成18年6月末			【参考】平成19年3月末		
		契約額等	時価	評価損益	契約額等	時価	評価損益	契約額等	時価	評価損益
店頭	バスケット・オプション	9	—	—	—	—	—	7	—	—
	合計			—			—			—

(注) 取引所取引は該当ありません。

6. 預金・貸出金の残高(連結)

(単位：億円)

	平成19年6月末	平成18年6月末	【参考】平成19年3月末
個人預金	12,655	11,119	12,129
法人預金	2,065	1,856	2,021
公金	345	778	387
金融機関預金	60	56	266
預金残高	15,127	13,810	14,804
貸出金残高	11,861	10,708	11,690